



まいばら

まんすりーれぽーと

市内のB&G海洋センターが「特A評価」を受賞

山東B&G海洋センターと伊吹B&G海洋センターが全国B&G海洋センターの施設評価で最高評価にあたる「特A評価」を受賞しました。これは、B&G財団が年間を通して活発な事業を展開した優良海洋センターを表彰するものです。

山東B&G海洋センターは、プールの積極的な集客や各種教室、大会の実施などが高く評価され、6年連続の受賞。この受賞を受け、山東B&G海洋センターの高橋所長代理は「子どもが楽しく続けていけるような水泳教室や、大人も運動不足を解消できるプログラムを取り入れ、多くの人に利用してもらえるようにしたい」と今後の展望を話してくれました。

伊吹B&G海洋センターは、4年連続の受賞となり、B&G財団事業の積極的な活用や施設の適切な管理などが高く評価されました。伊吹B&G海洋センターの岩山所長は「今後も地域に根差した取り組みや、幼児や高齢者向けのプログラムを充実させたい。また、カヌーの活用も進めていきたい」と話してくれました。



▲市内唯一の温水プールで開催中の子ども水泳教室（山東B&G海洋センター）



◀高齢者の介護予防と認知症予防のため、カヌーを取り入れた健康楽しく教室を開催（伊吹B&G海洋センター）

民家ホームステイ入村式（2月17日）

教育旅行で米原市を訪れた、広島県呉市立宮原中学校の2年生42人を出迎える入村式が伊吹葉草の里文化センターで行われました。



入村式では平尾市長が「いろいろな出会いや体験が、自分の人生を変えるかもしれない」と歓迎のあいさつをしました。

この教育旅行の受け入れは、子どもたちとの交流を通して、米原の魅力を発信し、地域に対する誇りをもつていただくために行われ、今回、姉川上流の大久保から甲津原の12軒の家庭が生徒たちの民泊を受け入れました。生徒たちは3人から4人のグループに分かれ、2泊3日の民泊の中で、奥伊吹スキー場でのスキー体験や雪かき、もちつきなどを楽しみました。

ふるさとをテーマに絵と俳句を（2月18日）

市が主催した「みんなでふるさとを描こう」と「ふるさと親子俳句大会」の作品展がガランチプラザで開かれました。この日行われた表彰式では、入賞者23人が山本教育長から賞状を授与されました。

「みんなでふるさとを描こう」は、ふるさとに愛着を感じる子どもを育成するために開かれ、139点の応募がありました。作品展では、あまんぼうや柏原宿など、ふるさとをテーマに描かれた作品が飾られました。

また「ふるさと親子俳句大会」は、郷土を愛する心と親子の絆を培うことをねらいとし、1624点の応募がありました。ふるさと大賞を受賞した河南小学校1年生の針屋

さんは「受賞できて嬉しい」と喜びを話してくれました。

